

自衛隊の任務

自衛隊の主たる任務は、わが国の平和と独立を守り、わが国に対する侵略を未然に防止するとともに、万一侵略を受けた場合に、これを排除することです。

自衛官は、「国の防衛」をはじめ、「災害派遣」、「国際平和協力活動」等に携わります。

自衛官とは

防衛省に勤務するすべての職員を防衛省職員といいます。防衛省職員のうち、そのほとんどが特別職国家公務員としての「自衛隊員」であって、事務次官をはじめとする事務官・技官などいわゆる文官と、統合幕僚長を頂点とする陸・海・空自衛官からなっています。

自衛隊員のうち、階級を有して、制服を着用し、武器を持って独立と平和を守ることを任務としているのが「自衛官」です。

自衛官の人事制度の特色

自衛官の人事の大きな特色として階級制度、若年定年制度、2年または3年を任用期間とする「任期制」が採られています。

自衛官の階級は上から、将・将補、1～3佐、1～3尉、准尉、曹長・1～3曹、士長・1～2士です。

各コースの内容とその将来

幹部自衛官を目指すコース

幹部候補生 (一般、歯科・薬剤科)

一般大学卒業者等を対象とする幹部自衛官(パイロットを含む)を養成します。採用とともに陸・海・空曹長に任命され、幹部候補生として約1年間の教育を受け、3等陸・海・空尉(院卒者試験の合格者は2尉)に昇任します。

自衛隊の指揮官を目指すコース

防衛大学校学生

将来、陸・海・空の幹部自衛官(パイロットを含む)となる者を養成します。防衛大学校で4年間の教育を受け、卒業後、陸・海・空自衛隊の幹部候補生として約1年間の教育および部隊実習を経て、3等陸・海・空尉に昇任します。

自衛隊の医師を目指すコース

防衛医科大学校学生 医学科

将来、陸・海・空自衛隊で医官として勤務する幹部自衛官となる者を養成します。防衛医科大学校で6年間の教育を受け、第6学年時に国家試験を受験して、合格者には厚生労働大臣から医師免許が与えられ、幹部候補生として約6週間の教育を受けて、2等陸・海・空尉に昇任します。

自衛官の任用コース

自衛官になるには、さまざまなコースがありますが、大きく分けると、防衛大学校や防衛医科大学校への入校、あるいは一般大学を卒業して幹部候補生となって、将来の陸・海・空自衛隊の幹部自衛官になるためのコース、航空学生として海上・航空自衛隊の航空機パイロットになるためのコース、自衛隊の看護官になるためのコースなどのスペシャリストを目指すコース、陸・海・空の中堅の曹になるための一般曹候補生のコース、中学校卒業後陸曹を目指す高等工科大学校生徒のコース、自衛官候補生として入隊し3ヶ月の教育修了後1年9ヶ月(陸上自衛官)または2年9ヶ月(海上・航空自衛官)の任期制自衛官になるコースなどがあります。

もちろん、幹部自衛官になるためのコース以外のコースからも採用後の勤務実績や功労に基づく選考、または試験によって、上位の階級に昇任して幹部自衛官になる道も開かれています。自衛隊の任用制度は、このように多くの種類がありますが、能力と努力次第で、さらに上を目指すチャンスが公平、平等に設けられているのが、一番の特色といえます。

自衛隊の看護師を目指すコース

防衛医科大学校学生 看護学科(自衛官候補看護学生)

将来、陸・海・空自衛隊の病院・部隊等で看護官として勤務する幹部自衛官となる者を養成します。防衛医科大学校で4年間の教育を受け、国家試験を受験して、合格者には厚生労働大臣から看護師免許が与えられ、幹部候補生として教育を受け幹部自衛官となります。

パイロットを目指すコース

航空学生 (海自・空自)

高校卒業者等を対象に、将来の海上・航空自衛隊のパイロット、戦術航空士(海上自衛隊)を養成します。採用後約6年で3等海・空尉に昇任します。

技術を身につけ陸曹を目指すコース

高等工科大学校生徒 (陸自)

中学校卒業者を対象に、技術関係の職務に従事する陸曹となるための知識、技能を教育します。課程(3年)修了時、陸士長に任用され、生徒陸曹候補生課程を経て3等陸曹になります。生徒教育修了時には高等学校卒業と同等の学力を身につけ、高等学校卒業の資格を取得できます。将来は幹部自衛官への道も開かれています。

自衛隊の第一線でスキルを身につけるコース

自衛官候補生

採用後は教育隊等で3ヶ月間自衛官候補生として教育・訓練を受け、修了後2士に任用され、陸・海・空自衛隊の第一線で任期制(原則として陸上1年9ヶ月、海上・航空2年9ヶ月)自衛官として勤務します。希望者には継続任用の道が開かれているほか、選抜試験により曹・幹部への昇任も可能です。また、特技課程により各種の公的資格の取得の機会があるほか、夜間または通信制の学校への通学も許可などにより可能です。

自衛隊の中堅の陸・海・空曹を目指すコース

一般曹候補生

18歳から27歳未満の者を対象に、採用後所要の教育を修了すると陸・海・空自衛隊の部隊に勤務しながら、継続的な教育・訓練を受け、採用後約2年9ヶ月経過以降、選考により3等陸・海・空曹に昇任します。選抜試験により幹部自衛官への道も開かれています。

●自衛官になるにはいろいろなコースがあります。

